



一般社団法人 **日本環境感染学会**
Japanese Society for Infection Prevention and Control

学会としての

活動の意思決定と

展開のための戦略

日本環境感染学会 理事
東京医科歯科大学 小野和代

学会としての活動の実際

情報発信

- ・ フェーズに合わせた対応方法、考え方、留意点等【医療者向け、一般市民向け、高齢者施設向け】
- ・ WHOアウトブレイクコミュニケーションガイドライン【日本語版】
- ・ 関連団体からの情報配信（国内・海外）

ガイド作成

- ・ 医療機関における対応ガイド；第3版まで
- ・ 高齢者介護施設における感染対策

教育

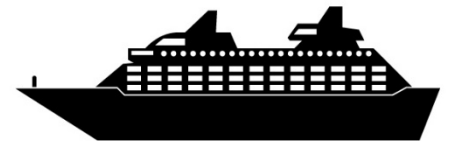
- ・ 緊急セミナーの開催
- ・ 動画配信

相談窓口の設置

- ・ 高齢者施設向け（メールによるQ&Aシステム）

現地調査、指導、支援

- ・ 帰還邦人等の滞在施設
- ・ 大型クルーズ船
- ・ アウトブレイク発生医療機関、高齢者施設



等

いつ？ どのタイミングで？

世の中の状況

COVID-19関連の学会の動き

1/6	中国武漢における原因不明肺炎発生 (第1報 ; 1/5の状況)	
1/15	日本で、COVID-19陽性 (1例目)	
1/29	武漢からのチャーター便;邦人帰還	■ 大学や施設への協力依頼 (学会関係者) 情報発信 新型コロナウイルスへの対応 (1/28)
1/31	WHO 緊急事態宣言	
2/1	感染症法において指定感染症に指定	
2/3	大型クルーズ船 入港許可 検疫開始 乗客・乗員 ; 3711人	支援依頼 宿泊施設滞在者に対する対応 (厚労省) ■ 大学や施設への協力依頼 (学会関係者)
2/7		セミナー開催
2/9		支援伺い [船内での院内感染対策の指導に対する要請] に対する意見伺い (理事長)
2/10		実地調査・指導 DICT (災害時感染制御支援チーム) メンバー情報収集等
2/13	● 理事会・評議員会開催 情報集約・意見交換・承認	ガイド発信 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド (第1版) プロジェクトチーム チームの構築等を開始
2/14	● 第35回学術集会 (横浜) (~15日)	
2/16		プロジェクトチーム案の承認・稼働開始

活動の意思決定

- 今回のことと言うと -



展開のための戦略

■ 新型コロナウイルス 院内感染対策プロジェクトチーム

常設委員会



災害時感染制御検討委員会
(DICT ; 支援チーム)

現地支援・指導

院内感染対策
支援チーム

相談窓口
の運営

リスクコミュニケーション
委員会

疫学情報
収集チーム

臨床情報
収集チーム

プロジェクト
チーム総括
(理事長)

院内感染対策
講習チーム

院内感染対策
ガイド作成
チーム

第3版まで発行

円滑に進んだ背景（1）

他学会との強力な連携

平素からの活発な連携協力体制
4学会の理事長が、近い距離に居て顔なじみ！
⇒連携のし易さ

日本感染症学会

日本臨床微生物学会

日本化学療法学会

日本環境感染学会

2019年～

日本感染症学会

日本環境感染学会

ABOUT **FUSEGU 2020**
マスクギャザリングと感染症
－感染症から自分もみんなも守る－

目的；東京オリンピック・パラリンピックに向けて、海外からの各種病原体の持ち込みを防ぐ一連の教育・啓発

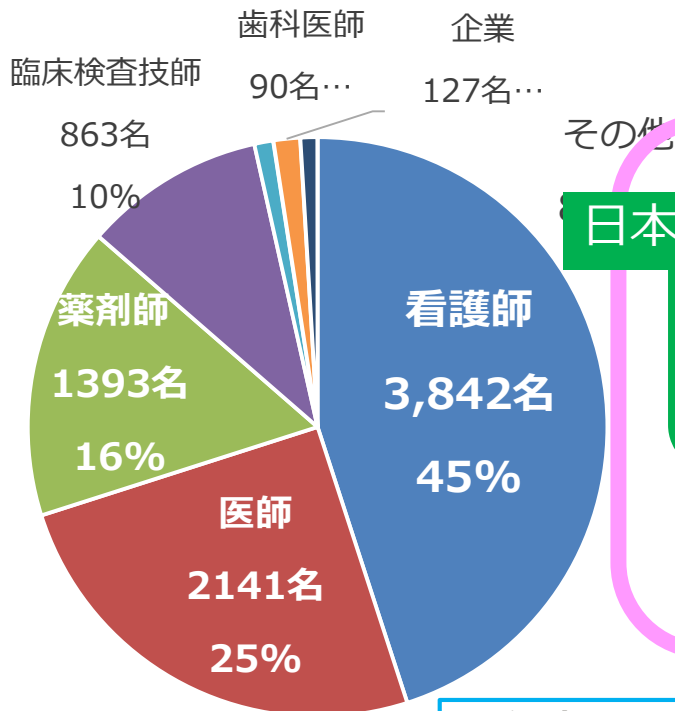
円滑に進んだ背景 (2)

多職種構成

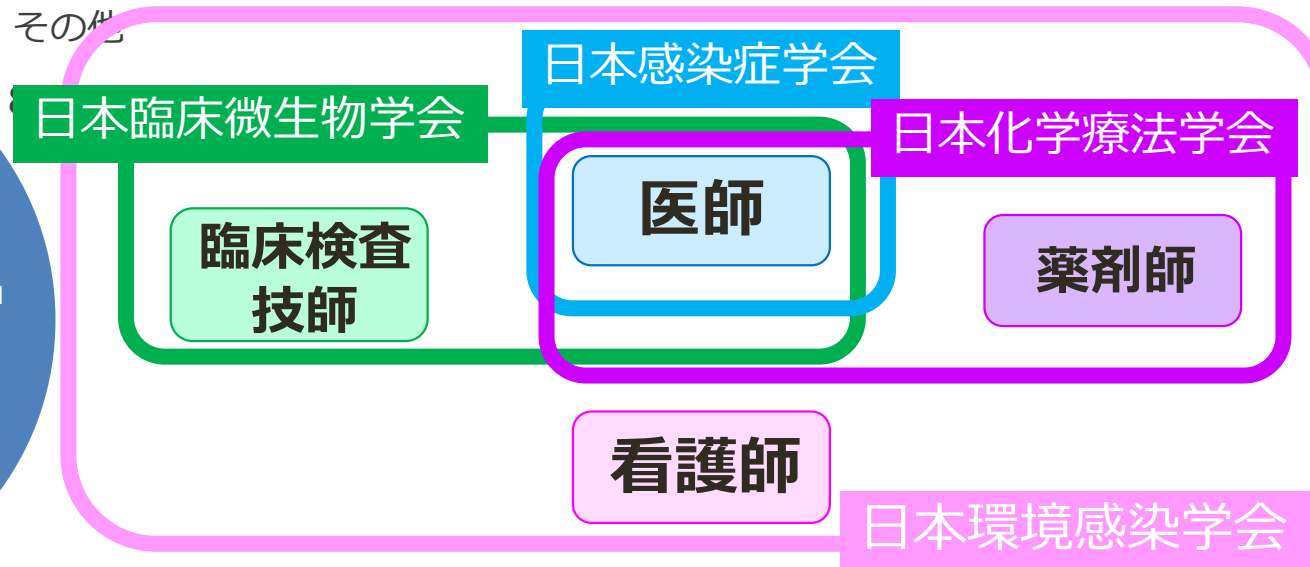
医師・看護師・薬剤師・検査技師・その他と、多職種による構成

⇒感染制御領域では世界最大規模の学会に成長
専門性の高い各職種の円滑な連携による、幅広く且つ緻密な情報集約と活用

■ 学会員の職種別内訳



■ 関連学会と主な職種構成



一般会員 ; 9,469名
内、職種判明者 ; 8,538名

2019年12月31日時点

円滑に進んだ背景 (3)

活発な 委員会活動

ニーズに合わせて柔軟に委員会（常設、アドホック）
・WG等の構築、多職種メンバーの連携
常設：22、アドホック：4（6/1現在）

リスクコミュニ ケーション

リスクコミュニケーション委員会による活動
WHO Outbreak Communication Guidelines, WHO, 2005
「感染症アウトブレイクにおけるリスクコミュニケーションのベストプラクティスの5つの要点」

信頼

速やかな公表

透明性

市民

計画策定

学会の役割 機能の明確化

病院感染制御を中心的な研究課題としていくが、**環境変化に起因するすべての感染症**、感染症の疫学調査と原因の究明、感染予防対策、病院建築設備と感染、腸管感染症などにも課題を広げ、**多岐に渡る役割**を果たしていく

情報

調整

【理事長】
起案

【理事等】
意見交換

調整

発信

学会トップの
リーダーシップ

まとめ

学会としての役割を果たすために重要だったこと

- 関係他学会との実務的な連携
- 実践的組織構築と運営（ニーズ把握とガバナンス）
- リソースの有機的活用
- 学会の役割機能の明確化
- 理事長のリーダーシップと（学会員のメンバーシップ）

課題

- 地域活動戦略の構築及び推進・強化



ご清聴ありがとうございました。